

3 適用条件

本工法はサイディングを使用し、以下の条件を満たす建築物に制限します。

構 造	鉄骨造	外壁仕上げ材	窯業系サイディング※1 COOL・モエンエクセラード(6尺・10尺品)
部 位	外壁(非耐力)	外壁仕上げ材 施工法	横張り 通気留付金具工法

※1 6尺品は横張りのみ。

※留付工法別の許容風圧力についてはP.170をご参照ください。

4 使用可能サイディングと下地基準

サイディングおよび施工法は、原則として下表とします。

躯体構法	胴縁種類	胴縁方向	胴縁間隔	サイディング の張り方向	留付方法 (施工)	使用可能なサイディング
鉄骨造 (外壁非耐力)	軽量形鋼 (C形鋼または 角形鋼管)	縦胴縁	607mm以下	横張り	通気金具施工	COOL モエンエクセラード (1.5尺×10尺品、1.5尺×6尺品) ----- 21mm、18mm、16mm厚品

5 各部の規定・施工

■ 胴縁の施工

●材質・寸法 鉄骨胴縁を下地とします。鋼材は下表に示します。

部 位	規 格	サイズ	方 向	胴縁間隔
一般部	JIS G 3350 一般構造用軽量形鋼	C-100×50×20×2.3mm以上	縦胴縁 (サイディング横張り)	607mm以下
	JIS G 3466 一般構造用角形鋼管	□-100×50×2.3mm以上		
サイディング 目地部	JIS G 3350 一般構造用軽量形鋼	C-100×50×20×2.3mm以上×2本		
	JIS G 3466 一般構造用角形鋼管	□-100×50×2.3mm以上×2本、 □-100×100×2.3mm以上		

■ 面材の施工

●屋外側被覆材の施工※

被覆材	規 格	厚 さ	留め付け
強化せっこうボード(防水・防カビタイプ) 被覆材は強化せっこうボード(防水・防カビタイプ) を必ず使用してください。	JIS A 6901	15mm以上	固定用材料:ドリリングタッピンビスまたは鉄骨用釘 下 張 り : φ2.5×38mm以上 上 張 り : φ2.5×50mm以上 留 付 間 隔:鉛直方向455mm以下 水平方向607mm以下

鉄骨用釘は施工前に試し打ちを行い、空気圧等を調節することで釘頭がせっこうボードにめり込まないように注意してください。

上張りのせっこうボードは下張りのせっこうボードの目地と重ならないように、ずらして張り付けます。

せっこうボードを施工後2週間以内に防水紙を施工してください。

※認定の規定上、下張りとは上張りの強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)の横目地は必ず100mm以上ずらしてください。下張りとはサイディングの横目地がそろういます。